



Title	職場・業務紹介 附属植物園
Author(s)	長野, 純子
Citation	北海道大学農学部技術部研究・技術報告, 6, 30-31
Issue Date	1999-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35379
Type	departmental bulletin paper
File Information	6_p30-31.pdf



附属植物園 長野 純子



平成10年4月1日付で採用され、それまで植物園をよく知る機会がありませんでしたが勤務してまず感銘を受けたことは、「北大植物園」が札幌市の中心部にありながらも緑に恵まれていることです。そしてここで生活している鳥や動物類もまた多様であることに驚きました。マガモ、いろいろな野鳥、空が真っ黒になるほどのカラスの群れ、カエル、トンボ、リス、キツネなどなど、よく見かける動物たちもここでは主役に見えます。

1年間の作業の流れをつかむために、本年度は草本分科園を中心としながら、園内のいろいろな仕事をしてまわりました。

【仕事内容】

雪割り……雪解けが早く進むよう、スコップで雪を細かく割ってやります。これが最初の仕事でした。

通路整備……通路の中で水が溜まりやすくなっている所や、土が流れてしまった場所に焼きずりを敷き、開園前の道路整備をしました。

植え替え……火山礫や腐葉土などで植物の性質に適した割合の用土を作り、高山植物や温室植物を植え替えました。またミズゴケを使ってラン類などの植え替えもしました。

アカエゾマツ芽摘み……高山植物園にあるアカエゾマツの新芽を、全て3分の2ぐらい指先で摘み取ります。厳しい環境に生育する種類は小型化しますが、暖かい札幌で自然の樹形を保つためにはこのような仕事が必要となります。結構、根気のいる作業です。

ライラック花がら取りと剪定……翌年の花付きを良くし樹形を整えるために、花が終わって種子ができる前に花がらを取り剪定をします。脚立に上がり長い高枝切り鋏を使っての作業は恐ろしくて最初は下を見ることができませんでした。

この他に芝刈り、冬囲い、落ち葉処理、除雪、雪下ろし、「植物園だより」を作成するための資料さがし、植物の絵を描く練習などもしました。

【開園日風景と感想】

4月29日「みどりの日」、着任して初めての開園日です。仕事は休みでしたが、入園者に混じって様子を見ようと思い家を出ました。この日だけは無料開放ということもあって、開園前から入口には列ができていました。日差しは暖かく、時折風は強く吹きましたが、園内を一周するころには汗ばむほどでした。一番賑わっていたのは南ローンとサクラ林です。例年ならばゴールデン・ウィーク後半が見ごろのエゾヤマザクラがすでに満開となり、強風が吹くとまさに桜吹雪でした。芝生の上ではお弁当を広げたり、寝転んだり、

読書をしたりと、皆さんゆったりと時間を過ごしているようでした。一方、アウトドア風のグループは園内をくまなく歩き、咲いている花の前で足を止めて、ガイド役の説明を熱心に聞いていました。また至る所でスケッチブックを広げている人や、カメラを手にシャッターを切る人を見ました。陽気も手伝ってこの日の入園者数は 4,861 人にもなりました。

北大植物園は教育や学術研究だけではなく、様々な目的を持った人達が自然と触れ合い、生涯教育や趣味にも利用されている重要な施設であることを実感しました。それらに応えることができるように、十分な知識と技術をできるだけ早く身に付けたいと思いますのでご指導よろしくお願いします。